

学 生 生 活 （Ⅱ）

学生生活充実のために

1. 悩みごとなどの相談

1. 1 学生相談室

(1) 学生相談室とは

学生相談室では、専門の相談員が学生の皆さんからの相談に応じています。

相談内容は、学生生活全般、家庭生活、人間関係、勉強、サークル活動、進路、将来のことなど、どんなことでもかまいません。何か心配なことや不安なこと、悩んでいることがありましたら、気楽に相談室を訪れてください。相談員がお話を伺い、今後のことなどについて一緒に考えていきます。プライバシーは守られます。必要に応じて学内又は学外の機関をご紹介します。保護者、ご家族の皆様からのご相談も随時お受けします。相談室の利用に料金はかかりません。

(2) 学生相談室の利用方法

開設時間中はいつでも相談に応じます。ただし、相談実施中の場合（相談実施中は相談室入口に「面談中」という掲示をします）、希望の曜日・時間帯に先約の相談が入っている場合、相談室に来室できない場合などは、予約をしていただくこととなります。電話又メールにて、相談予約ができますので、ご利用ください。

なお、相談実施中は電話に出られないこともあります。その際は、おかけ直しいただくか、E-mail でご用件をお知らせください。

- 場 所 : 26号館6階 第一相談室2662室 第二相談室2666室
- 開設時間 : 午前9時30分～午前11時30分
午後12時30分～午後4時00分（土日・祝日はお休み）
- 電話番号 : 048-585-6879（学生相談室直通）
- E-mail : soudanshitsu@sit.ac.jp

メール予約について：メールで相談予約をする場合は、本文に①学籍番号、②氏名、③所属（学部・学科）、④学年、⑤相談希望日程（日にち、時間）をご記入ください。相談内容については、記入は任意です。

1. 2 学生委員について（学生相談）

学内には学部・学科ごとに学生相談を担当する学生委員がいます。身近な生活の悩みやトラブル、苦情等も随時受け付けていますので、気軽に相談してください。

また、「外国人留学生」や「障害を持つ学生」についても親身になって相談に応じます。

相談をする場合は、学科事務室を通し研究室に向向くか、メールアドレスなどで相談内容などを書き込み、合わせて面談日などの確認をしてください。

学生課を通じての相談も可能です。

●工学部の学生委員一覧

| 学科 | 学生委員氏名 | 性別 | T E L | メールアドレス / () は研究室 |
|-----------|--------|----|--------------|------------------------------|
| 機械工学科 | 萩原 隆明 | M | 048-585-6824 | t-hagiwara@sit.ac.jp (6号館2階) |
| 生命環境化学科 | 熊澤 隆 | M | 048-585-6845 | kumazawa@sit.ac.jp (2号館2階) |
| 情報システム学科 | 井上 聡 | M | 048-585-6405 | inoue@sit.ac.jp (22号館3階) |
| 基礎礎教育センター | 高橋 俊典 | M | 048-585-6881 | ttoshi@sit.ac.jp (26号館6階) |

●人間社会学部の学生委員一覧

| 学科 | 学生委員氏名 | 性別 | T E L | メールアドレス / () は研究室 |
|--------|--------|----|--------------|---------------------------|
| 情報社会学科 | 宮崎 洋 | M | 048-585-6345 | h-miya@sit.ac.jp (30号館2階) |
| 心理学科 | 小野 広明 | M | 048-585-6352 | ono@sit.ac.jp (30号館6階) |

1. 3 セクシュアル・ハラスメント及びアカデミック・ハラスメントの防止について

セクシュアル・ハラスメント（以下「セクハラ」という。）とは、「相手の意思に反して不快や不安な状態に追いこむ性的な言葉や行為」を指します。

セクハラには、次のように2つのタイプがあります。

① 対価型セクハラ 「職場や学校などにおける立場・同調圧力・階級の上下関係を利用し、下位にある者に対する性的言動や行為を行う（強要する）こと」

② 環境型セクハラ 「性的な嫌がらせ」

アカデミック・ハラスメント（以下「アカハラ」という。）とは、「研究教育の場における権力を利用した嫌がらせ」を指します。

学生に対するアカハラの場合としては、指導教員からの退学・留年勧奨、指導拒否・学位論文等の取得妨害などがあります。

もし、セクハラやアカハラにあったときは、1人で思い悩んだりせずに、次の大学相談員に相談してください。また、カウンセリング・ルーム及び学生課でも相談に応じます。

●工学部の相談員

| 学科 | 相談員氏名 | 性別 | T E L | メールアドレス / () は研究室 |
|----------|--------|----|--------------|-----------------------------|
| 機械工学科 | 石原 敦 | M | 048-585-6835 | ishihara@sit.ac.jp (6号館2階) |
| 生命環境化学科 | 秦田 勇二 | M | 048-585-6868 | hatada@sit.ac.jp (27号館3階) |
| 情報システム学科 | 関口 久美子 | F | 048-585-6397 | gucci@sit.ac.jp (22号館2階) |
| 基礎教育センター | 田中 正一 | M | 048-585-6343 | s.tanaka@sit.ac.jp (26号館7階) |

●人間社会学部の相談員

| 学科 | 相談員氏名 | 性別 | T E L | メールアドレス / () は研究室 |
|--------|-------|----|--------------|-----------------------------|
| 情報社会学科 | 佐藤 由美 | F | 048-585-6860 | satoyumi@sit.ac.jp (30号館7階) |
| 心理学科 | 河原 哲雄 | M | 048-585-6307 | kawahara@sit.ac.jp (30号館2階) |

※ 相談をする場合は、相談員にメールアドレスなどで相談内容などを書き込み、合わせて面談日などの確認をしてください。学生課を通じての相談も可能です。

2. 学習支援センター

2. 1 学習支援センターとは

学習支援センターは、みなさんの学習活動を支援するため、21号館（図書館棟）内に設けられた施設であり、学習相談や支援セミナー、ワークショップなどを実施しています。学習相談では、語学をはじめとした人文系科目から理数系科目までの広い領域を専門とするチューター（教員）とティーチングアシスタント（大学院生のTA）が、みなさんの自主的な学習をサポートします。講義期間中の月曜日から金曜日まで利用することができます。支援セミナーでは、主に高校数学と高校物理の復習を目的として専任チューターが講師となり、スケジュールに従って単元ごとの解説をしています。大学での授業を理解するのに必要な数学と物理の基礎を学ぶことができます。

ワークショップでは、学ぶことの楽しさを知ってもらうために、さまざまなテーマで体験型の授業を行っています。気軽に受講でき、普段の講義では得られない体験をすることができます。

勉強や生活のことで尋ねたいことがあるとき、レポートを書いている聞きたいことがあるとき、空いた時間に自習したいとき、どうぞ学習支援センターの扉を開けてください。ノックなど不要です。教科書や参考書などもたくさん用意していますから、自習にも最適です。

2. 2 利用できるもの

学習支援センターには、勉強に必要なさまざまなもの、たとえば、授業に使う教科書や、辞書・参考書・問題集などが豊富に用意されています。これらはセンター内で自由に利用することができます。コピー機もありますので、自習するには便利でしょう。さらに、ネットワークに接続されたパーソナル・コンピュータも用意しています。情報検索やレポート作成などに利用することができます。

2. 3 担当教員

学習支援センターには、チューター及びティーチングアシスタントが在室しており、学習のことについて質問・相談ができます。

チューターの専門分野は物理・化学から文学・哲学まで幅広く、さまざまな相談に対応することができます。語学のこと、数学、物理、化学、情報、教職など、知りたいことが生まれたら支援センターに行ってみましょう。コンピュータについても、基本的な使い方からプログラミングのことまで相談することができます。

勉強のことで質問したいときは、担当曜日・時間を確認して尋ねてみましょう。もちろん、そのチューターの専門分野以外の用件であっても利用できます。また、支援センターから各科目の先生に連絡をとり、相談することも可能です。

2. 4 開館時間

月・水・木・金曜日は10時から18時まで、火曜日は12時15分から13時10分と16時20分から17時20分まで開館しています。

詳細は、埼玉工業大学学習支援センターホームページで確認してください。

<http://www.sit.ac.jp/lsc/>

3. 健康相談

心身が健康であってこそ、学生生活を楽しむことができます。

病に倒れてしまっても何もできません。身体的疾病を解決することにより、精神的な不安も解消されます。自己の健康管理のポイントは「早期発見」です。

3. 1 保健室の利用

授業中や課外活動中など学内で体調不良や、思わぬケガをしたときは、すぐに保健室または学生課へ申し出てください。

●場 所：21号館（図書館）1階

※開室時間は、学生掲示板にてお知らせいたします。

3. 2 定期健康診断

学生課では、全学生を対象にして、毎年定期健康診断を実施しています。

新入生の定期健康診断は、毎年4月のオリエンテーション期間内、2年生から4年生は毎年2月上旬に行っています。

定期健康診断は、学生の皆さんの健康維持、疾病の早期発見のために毎年行っていますので必ず受診するようにしてください。

定期健康診断の実施項目は、次の通りです。

X線間接撮影、尿検査、血圧、視力、色覚、内科検診、身体計測（身長、体重）、血液検査

定期健康診断の実施日は、学生課の掲示板に掲示します。

健康診断に無関心でいると、取り返しのつかない事態になります。就職の斡旋や日本学生支援機構の奨学生推薦ができないことがありますので十分注意してください。

3. 3 健康診断証明書の発行

定期健康診断を受けた学生は、健康診断書が発行できます。

4年生は、就職活動に必要な書類ですから、必ず受診してください。

健康診断書の発行は、26号館学生課前の証明書自動発行機で行ってください。

手数料は1通300円です。なお、4年生が就職活動に使用する場合は1通100円です。

3. 4 健康診断結果報告書の発行

定期健康診断を受けた学生には、4月に学生課で健康診断結果報告書を配布します。受診したそれぞれの項目の検査結果が一目でわかるものです。医師による総合判定のコメントを参考にして、「検査を要する」との判定には、医師の再検査を至急受けるようにしてください。

3. 5 保険証の携帯

自宅外通学の学生は、保険証を取り寄せておき、思いがけないケガや病気に備えるよう心がけてください。

3. 6 飲酒の恐ろしさ

「イッキ飲み」の禁止

「イッキ、イッキ」の掛け声とともに大量のお酒を短時間で飲むイッキ飲みは、体内のアルコール分解のサイクルを無視した非常に危険な飲み方です。

肝臓での代謝が追いつかず、アルコールの血中濃度が急速に高まって、呼吸中枢などの中枢神経が麻痺（マヒ）してしまう急性アルコール中毒になりやすいのです。

時には脳の麻痺が進み、意識が混濁、呼吸も麻痺して死に至る場合もあります。

酔いつぶそうと思って飲ませ死なせたら『傷害致死罪』、そんな意図がなくても、相手が酒に溺れて死亡したら『過失致死罪』、一緒に飲んで相手が泥酔の状態におち、そのまま放置したら『保護責任者遺棄』、さらに死傷に至ったら『遺棄致死傷』等、法的な処分が科せられます。

この問題は他人ごとではなく、本学でもここ数年、新入生歓迎コンパやサークル活動の仲間内の飲み会等で“急性アルコール中毒”で病院に運ばれた学生が少なくありません。

お酒は適量飲めばストレスも取れたり、場の雰囲気が盛り上がり、時には楽しいものです。

しかし、誤った飲み方をした場合には、どんな人でも死に至る恐ろしいものでもあります。

大学生だからといって無理をしても平気だろうと自負している学生は、考えや認識を改める必要があります。

飲酒の心得5ヶ条

- (1) 「イッキ」飲みは決してしない、させない。
- (2) 飲めない人にはすすめない。
- (3) 体調が悪い日、風邪薬や痛み止めなどの薬を飲んでいるときは、飲まない。
- (4) 食べながら、ゆっくり飲む。
- (5) 飲める人でも「ほろ酔い」段階で切り上げる。

「未成年者飲酒」の禁止

日本では「未成年者飲酒禁止法」によって、20歳未満の飲酒が禁じられていますが、その目的は未成年者をアルコールの害から守ることにあります。

人間の成長期は心身ともに未発達です。アルコール分解能力も大人に比べて未熟なため、脳細胞への悪影響、性ホルモンを作り出す臓器の機能が抑制されるなど、未成年者の飲酒は健全な発育を阻害することになります。

「飲酒運転」の禁止

車の運転には機敏な反射能力や的確な判断能力が必要ですが、お酒を飲むことによってそうした能力は低下します。飲酒による視力の低下はいちじるしく、視野は狭くなってしまいます。

末梢神経の反射運動能力が損なわれ、集中力が落ち、スピードの出しすぎ、ブレーキの踏み遅れやハンドル、アクセル、クラッチの操作が乱暴になります。

酒気帯び運転、酒酔い運転は、一歩間違えば本人だけでなく、関係のない他人をも悲劇に巻き込む重大な事故につながります。

道路交通法で「何人も酒気を帯びて運転してはならない」と言っているのは、こうした飲酒運転の恐ろしさによるものなのです。一口でも飲んだら車の運転はしない、運転をするなら一口も飲まないという強い意志を持ちましょう。

●詳細は、以下の「財団法人アルコール健康医学協会」のホームページを確認してください。

<http://www.arukenkyo.or.jp/>

3. 7 エイズに関する基礎知識

エイズ (AIDS) は、Acquired Immuno Deficiency Syndrome の頭文字をとったもので、日本語では「後天性免疫不全症候群」といいます。エイズを起こすウイルスは HIV (ヒト免疫不全ウイルス) といわれ、一般的にエイズ・ウイルスと呼ばれます。

エイズは、外から感染したエイズ・ウイルスによって、からだの免疫機能が破壊され、さまざまな病原体に感染しやすくなる病気です。治療方法も進歩し、延命できる人も増えてきましたが、まだ治すことが難しい病気です。また、だれでもかかりうる病気です。

感染経路は性行為・血液・母子感染の3つです。急増しているのは性行為感染です。

正しい予防をしなければ、だれでも HIV に感染する危険性があります。

日常生活 (握手・入浴・食べ物に分け合う・プール) では感染しません。

HIV に汚染された血液・精液・膣分泌液の粘膜への直接接触を防ぐことで充分に予防できます。

現在のところ、性行為感染を防止できる確実な方法はコンドームの正しい使用です。

ためらわないでエイズ検査を受けよう。

一応の目安として、自分が感染したかもしれないと思われる最後の心当たりから、12週間経ってから後の検査をお勧めします。

●詳細は、以下の「財団法人エイズ予防財団」のホームページを確認してください。

<http://www.jfap.or.jp/>

専門の相談員が直接お答えします。

フリーダイヤル 0120-177-812 (携帯電話 03-5259-1183)

機関ではプライバシーが守られるように、きちんと配慮がされています。

全国の保健所でも匿名で相談又は検査が受けられます。費用は原則無料です。

3. 8 禁煙運動について

タバコはなぜよくないか (百害あって一利なし)

タバコの害で代表的なのは肺がんです。喫煙者の肺がん死亡率は吸わない人の実に4倍以上。

また喫煙は動脈硬化を促進したり、ビタミンCが大量に消費されて感染症にかかりやすくなります。さらに怖いのは間接喫煙。タバコの害は主流煙 (本人が吸ったタバコの煙) よりも副流煙 (間接喫煙: 他人が吸ったタバコの煙) のほうが強いので、家族や周囲の人にも大きなリスクを与えてしまいます。このようなことから埼玉工業大学も学生諸君の健康を守るため、また、快適な空間を維持するため禁煙運動を推進しています。

キャンパス内では、お互い気持ちよく快適な環境で勉学できるよう以下の喫煙マナーを厳守してください。

- (1) 喫煙場所 (指定場所) 以外での喫煙禁止
- (2) 歩行喫煙 (くわえタバコ) 禁止
- (3) 吸い殻のポイ捨て禁止

3. 9 大麻・危険ドラッグなどの薬物の乱用防止について たった一度の使用が人生を台無しに！

昨年、報道されている「大学生による大麻等違法薬物の所持・乱用」ならびに「危険ドラッグの服用によって引き起こされた事故・事件」が大きな社会問題になっています。大麻を始めとする違法薬物や危険ドラッグは、その使用ばかりでなく、所持・栽培・製造・売買等も、法律で厳しく罰せられます。

違法な薬物の使用は、自身の健康と精神を破壊し、悲惨な学生生活につながってしまいます。

学生の皆さんは、違法薬物や危険ドラッグの所持、使用の危険性を充分認識し、本学の学生として責任ある自覚と良識ある行動をとるよう強く望みます。

●詳細は、以下の「厚生労働省薬物乱用防止」のホームページを確認してください。

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iyakuhin/yakubuturanou/

3. 1 0 若年女性に急増中の子宮頸がんについて

近年、子宮頸がんは20歳代の若年層で、急激に増えています。子宮頸がんの原因は、「ヒト・パピローマウイルス（HPV：Human Papilloma virus）」の感染が関連しているとされており、HPVは性交経験があれば誰にでも感染しうる、ごくありふれたウイルスで、女性の約8割が50歳までに感染を経験すると言われています。検診により、HPV感染から“がん化”する前の異形成という状態を発見することが可能で、初期に発見できれば子宮頸部の一部を切除する手術で治療することができ、治療後の妊娠・出産も可能です。手遅れとなる前に、定期的な検診を受けましょう。

●詳細は、以下のホームページを確認してください。

国立がんセンターがん対策情報センター <http://www.ncc.go.jp/jp/cis/>

特定非営利活動法人 子宮頸がんを考える市民の会 Orange Clover

<http://www.orangecllover.org/>

女性の健康・医療情報.net「もっと知ろう！子宮頸がん」<http://www.shikyu-keigan.com/>

3. 1 1 大学周辺の主な医療機関

思いがけない病気やケガの時のために、本学周辺の医療機関の一部を紹介します。

【岡部地区】

| | | |
|--------|---------------|------------------------------|
| 益岡医院 | (内, 外, 整, リハ) | 深谷市岡部 1243 048(585)5657 |
| 吉田眼科医院 | (眼) | 深谷市岡 2757-3 048(585)2054 |
| 橋本歯科医院 | (歯) | 深谷市山河 1234-2 048(585)1101 |

【本庄地区】

| | | |
|--------|--------------|------------------------------|
| 岡病院 | (内, 消, 循, 泌) | 本庄市北堀 810 0495(24)8821 |
| 上武病院 | (内, 精神, 歯) | 本庄市小島 5-6-1 0495(21)0111 |
| 田所医院 | (内, 外, 循, 放) | 本庄市けや木 1-8-2 0495(22)3445 |
| 春山眼科医院 | (眼) | 本庄市けや木 1-5-5 0495(21)2160 |

| | | |
|-----------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 服部クリニック | (眼, 耳) | 本庄市東台 4-1-22 0495 (24) 4671・4672 |
| 逸見耳鼻咽喉科医院 | (耳, 気管) | 本庄市駅南 2-20-3 0495 (22) 4852 |
| 本庄総合病院 | (内, 小, 外, 整, 脳神, 眼, 耳, 皮, 泌, 肛) | 本庄市北堀 1780 0495 (22) 6111 |
| 堀川病院 | (内, 外, 整, 形, 消, 肛, リハ, 皮) | 本庄市本庄 1-4-10 0495 (22) 2163 |
| 松本産婦人科医院 | (婦, 産, 女性内科) | 本庄市千代田 1-1-26 0495 (24) 3377 |
| 中央歯科医院 | (歯, 矯正) | 本庄市駅南 2-15-3 0495 (21) 1807 |

【深谷地区】

| | | |
|-----------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 佐々木病院 | (内, 外, 胃, 整, 形成, 脳神, 循, 皮, リハ) | 深谷市西島 2-16-1 048 (571) 0242 |
| 清水内科クリニック | (内, 消, 循, リハ) | 深谷市人見 445-3 048 (573) 1197 |
| 安達皮膚科医院 | (皮) | 深谷市上柴町西 4-4-19 048 (571) 2301 |
| 今井医院 | (内, 小) | 深谷市寿町 58 048 (572) 7728 |
| 上柴クリニック | (内, 外, 消, 循, 放) | 深谷市上野台 2321-2 048 (574) 7770 |
| 深谷整形外科医院 | (整, リハ) | 深谷市宿根東通 245-1 048 (574) 0022 |
| あだち医院 | (内, 消, 外, リハ) | 深谷市上柴町東 5-15-14 048 (551) 0222 |
| 白倉医院 | (内, 消, 小) | 深谷市稲荷町 3-3-1 048 (571) 0169 |
| 四元医院 | (内, 外) | 深谷市上柴町西 1-4-1 048 (573) 5200 |
| 新井歯科医院 | (歯) | 深谷市上柴町東 5-14-12 048 (573) 5077 |
| 大浜歯科医院 | (歯) | 深谷市東方町 3-19 048 (573) 8266 |
| 太宰歯科クリニック | (歯) | 深谷市上野台 2904-14 048 (573) 7800 |
| 石川医院耳鼻咽喉科 | (耳) | 深谷市西島町 3-17-65 048 (571) 0038 |
| 正田眼科 | (眼) | 深谷市稲荷町 1-8-33 048 (571) 1198 |

| | | |
|--------|--------------|---------------------------------|
| 桜ヶ丘病院 | (内, 消, 呼, 婦) | 深谷市国済寺 408-5 048 (571) 1171 |
| ふかや眼科 | (眼) | 深谷市西島町 3-14-8 048 (572) 3910 |
| 高橋眼科医院 | (眼) | 深谷市栄町 1-47 048 (571) 0318 |
| 吉田眼科医院 | (眼) | 深谷市岡 2757-3 048 (585) 2054 |

【熊谷地区】

| | | |
|-----------------|---|---|
| 熊谷総合病院 | (内, 外, 胃, 産, 耳, 小, 眼 整, 皮, 泌, 脳, 消, ナハ, 放) | 熊谷市中西 4-5-1 048 (521) 0065 |
| 藤間病院 | (内, 外, 消, 循, 整, 泌, 産, 整) | 熊谷市末広 2-137 048 (522) 0600 |
| ティアラ 21 女性クリニック | (内, 婦人科・女性の心と身体の悩み相談ほか) | 熊谷市筑波 3-202 ティアラ 21 5F 048 (527) 1122 |
| はぎわら眼科 | (眼) | 熊谷市玉井 1744-1 048 (533) 1177 |

4. 奨学金制度

奨学金制度は、教育の機会均等の精神に基づき、独立行政法人日本学生支援機構をはじめとする各種の団体により設けられています。

これらの制度は、学業成績・人物ともに優秀であって経済的に援助を必要としている学生に対して奨学金を貸与又は給付するものです。奨学金関係の事務は、学生課で扱っています。

奨学金制度により、出願資格・貸与又は給付の期間・金額・申請に必要な書類が異なります。

奨学金関係の説明会や募集案内に関する連絡は、すべて学生課の奨学金専用掲示板に掲示・通知しますので、見落とすことのないよう十分注意してください。

4. 1 学校法人智香寺学園特別奨学金制度（給付）

- (1) 目的 学部学生で学業・人物ともに優秀なものに、奨学金を授与し、これを奨励する。
- (2) 資格 2年生以上で、前年次の成績が優秀かつ心身ともに健全な学生と認められた者。
- (3) 給付額 10万円
- (4) 採用決定 各学科の学科長が推薦し、理事会審査を経て、毎年度始めに決定する。

4. 2 埼玉工業大学後援会奨学金制度（給付）

- (1) 目的 埼玉工業大学後援会の趣旨に基づき、学生の学業成就と成績向上を助成する。
- (2) 資格 2年生以上で、学業・人物ともに優秀で、経済的理由により学業の継続困難と認められる者。ただし、他の学内外諸団体の奨学金を受給していない者に限る。
- (3) 給付額 10万円
- (4) 採用選考 希望者の申請に基づき、学生委員会が選考する。
- (5) 採用者数 18名
- (6) 募集時期 毎年6月

4. 3 浄土宗 宗立・宗門校奨学金制度（給付）

- (1) 資格 4年生で、志操堅固かつ学術優秀なる者。
- (2) 給付額 10万円
- (3) 採用者 4年生から5名（各学科1名）
- (4) 採用選考 学科長の推薦

4. 4 日本学生支援機構奨学金（旧「日本育英会奨学金」）

独立行政法人日本学生支援機構の奨学金は、人物・学業成績ともに優秀かつ健康な学生で、経済的理由により修学困難な者に対して貸与されます。「第一種奨学金」（無利子）と「第二種奨学金」（有利子）の2種類があります。奨学生の選考は、人物・健康・学力・家計について基準に照らして行い、予算の範囲内で採用される仕組みです。

(1) 貸与月額

| 第一種奨学金 | 金額(月額) | 第二種奨学金 |
|-----------|--------------------|--------------------------|
| 自宅通学者の場合 | 3万円または5,4万円〔学生が選択〕 | 3・5・8・10・12万円 〔学生が選択〕 |
| 自宅外通学者の場合 | 3万円または6,4万円〔学生が選択〕 | |

(2) 入学時特別増額貸与奨学金

- ・入学時特別増額貸与の対象者は、4月を始期として奨学金の貸与を受ける者で、初回の月額に増額して貸与を希望する者です。
- ・申込みは、所得が少ないために日本政策金融公庫の教育ローンが利用できなかった世帯（当融資に係る世帯収入の上限を超えるものを除く。）、又は申込時の家計基準における認定所得が0（ゼロ）評価となる者の子弟に限られます。
- ・貸与額は、10・20・30・40・50万円から選択できます。
- ・奨学金の第1回目の振込時に全額が上乗せされます。
- ・入学時特別増額貸与奨学金だけを借りることはできません。

(3) 募集時期

4月中旬に募集を行います。

状況により追加募集や二次募集を行うこともあります。

募集・継続の手続については、全て26号館東側及び30号館3013教室前の「奨学金関係」の掲示板で案内しますので、見落としのないよう注意し、必ず出席してください。

**家計支持者の失職・急死又は火災や災害（台風・地震）等により、家計が急変し、緊急に奨学金の貸与が必要となった場合は、定期以外の採用（応急・緊急）があります。
学生課に相談してください。**

○詳細は、「日本学生支援機構」のホームページを確認してください。http://www.jasso.go.jp

4. 5 留学生関係の奨学金制度

- (1) 財団法人日本国際教育協会奨学金
- (2) 財団法人ロータリー米山記念奨学金
- (3) 財団法人平和中島財団奨学金
- (4) 橋本泰彦アジア・アフリカ奨学生奨学金基金
等実績があります。

詳しい内容については、募集の依頼があり次第、その都度掲示します。

不明の点については、学生課に問い合わせてください。

4. 6 その他の奨学金制度

都道府県教育委員会，地方公共団体，その他民間団体等の奨学金制度がありますので，募集の依頼があり次第，所定の掲示板に掲示します。

4. 7 教育ローン

『国の教育ローン』教育一般貸付（日本政策金融公庫）

「国の教育ローン」は，高校，短大，大学，大学院，専修学校，各種学校や外国の高校，大学等に入学・在学する学生等の家庭を対象とした公的な融資制度です。

- ①融資額 学生・生徒1人あたり350万円以内
- ②利率 平成28年5月10日現在 年1.9%（母子家庭は年1.5%）
- ③返済期間 15年以内（母子家庭・交通遺児家庭の方は18年以内）
- ④使途 入学金，授業料，教科書代，アパート・マンションの敷金・家賃など
- ⑤返済方法 毎月元利均等返済（ボーナス時増額返済も可能です）
- ⑥問い合わせ 教育ローンコールセンター 電話 0570-008656（ナビダイヤル）
または 03-5321-8656

日本政策金融公庫ホームページ（国の教育ローン）

パソコン用 <http://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

4. 8 提携教育ローン

（1）オリエントコーポレーション学費サポートプラン（学費分納制度）

本学と提携する（株）オリエントコーポレーションの学費サポートプランの利用者に対し，学生の在学期間における利子相当額について，奨学金として支給いたします。

「学費サポートプラン」は，入学金や授業料などの納付金を，Web または郵送で申込手続きができる学費の分割納付制度です（来店や所得証明書は不要です）。

①申込先 （株）オリエントコーポレーション

資料請求先：学費サポートデスク

電話番号：0120-517-325（受付時間：9：30～17：30）

*大学のホームページより申込みが可能です。

②利用対象者 本学に入學または在学する学生の保護者

*審査結果により，このプランの利用ができない場合があることを了承ください。

③対象費用 入学金・授業料・諸会費等の学校納付金

④利用可能額 納付書記載金額（利用累計 500万円まで）

利用金額は，（株）オリエントコーポレーションから埼玉工業大学へ直接振り込まれます。

申込に必要なものは，新入学生の場合「合格通知の写し」，「納付書の写し」，在学生の場合「学生証写し」，「納付書の写し」などです。

⑤返済方法 「通常分納」，「ステップアップ分納（在学期間中利払）」のどちらかを選択します。

利率は，固定金利 年率3.9%（平成28年12月1日現在）。

⑥利子補給 利子補給期間は在学中に限り，給付は埼玉工業大学より奨学金として，保護者の銀行口座に振り込みいたします。なお，利子補給の利率の上限は年率5%となります。また，本プラン以外の教育ローンは，利子補給の対象となりません。

⑦問合せ先 埼玉工業大学会計課 担当：井桁

電話番号：048-585-6810

（平日：9：00～17：00 第1・3・5土曜日 9：00～13：00）

（2）群馬銀行教育ローン

本学と提携する（株）群馬銀行の教育ローンで，金利の優遇があります。詳しくは，（株）群馬銀行のホームページ（<http://www.gunmabank.co.jp/teikei/kyoiku/>）で学校コード（ID）：92910を入力するか，学費の納入書に同封してあるパンフレットをご参照ください。ただし，この提携教育ローンは利子補給制度の対象とはなりません。

5. 生活相談

学生生活を送る上での相談、アパート情報及び休暇を利用してアルバイトを希望する場合などに、学生課が対応しています。

5. 1 アパートの紹介

自宅から通学できない学生のためにアパートを斡旋しています。最新の情報は、26号館1F学生課にてご確認ください。

(1) 住まいを借りるときの心構え

① トラブルを避けるために契約内容（敷金・礼金・家賃・駐車場・その他の費用・契約期間等）をよく確認してから契約してください。

また、近隣の生活環境等を確認し、必ず物件の下見をしてください。

下見をする場合、家主さんや不動産会社に日程を連絡してから訪ねてください。

② 「家主さんとの直接契約の物件」と「不動産会社の物件」と2種類あります。それぞれ契約内容が違いますので、注意してください。

※「家主さんとの直接契約の物件」は、大学近隣の家主さんからの物件で、大学から安値な家賃の設定を依頼しています。

※「不動産会社の物件」は、近隣の不動産会社の情報を記載しています。契約内容はそれぞれ異なるので、充分注意してください。

③ 部屋の条件に納得できたら、賃貸契約をしてください。

④ 契約後、不都合なことがあったら、学生課に相談してください。

⑤ 入居後は、騒音などには十分な配慮をしてください。

⑥ 自治体によりゴミ処理等の決まりごとが違います。契約時に家主さん、不動産会社から情報を集め、近隣に迷惑をかけないよう心掛けてください。

⑦ あらゆるトラブルには誠心誠意あたり、それでも解決できない場合は、学生課に相談してください。

部屋が決まり、引っ越しを終えたら、いよいよ新生活が始まります。一人暮らしは自立への第一歩。お金もしっかり管理しなければなりません。

予算内で生活できるよう金銭を管理することが大切です。「収支のバランス」を常に心がけて生活しましょう。

5. 2 アルバイトの紹介

アルバイトは、学業を優先に考え、無理のない自分にあったものを選ぶことが必要です。

深夜におよぶアルバイトに就き、授業を犠牲にして退学する学生も見受けられます。健康を害さないよう、学生各自が慎重に選んでください。

26号館1階掲示板のアルバイト求人票を見て自分に適したものがあった場合は、直接求人先に連絡してください。就業する前に、条件を確認し、納得してから就業してください。

なお、不安や疑問がある場合は、遠慮なく学生課に相談してください。

5. 3 国民年金の加入

平成3年4月から、学生も満20歳になると国民年金への加入が義務づけられるようになりました。これまでに、国民年金に加入していなかったために、在学中に事故や病気で障害の状態になっても、障害基礎年金が受けられなかったという事例もあります。20歳になったら必ず国民年金に加入してください。

(1) 国民年金は、こんなリスクに備えます。

① 障害基礎年金

国民年金の被保険者が障害を負った場合、一定の条件を満たしていれば障害基礎年金が受

給できる。障害の程度による定額制。

●詳細は、以下の「日本年金機構」のホームページを確認してください。

<http://www.nenkin.go.jp/n/www/service/detail.jsp?id=3225>

② 老齢基礎年金

原則として65歳から受け取ることができる。受け取るためには、国民年金の納付期間や免除期間およびカラ期間（合算対象期間）と、厚生年金に加入していた期間を合算し、10年以上の期間が必要。国民年金保険料を納めた期間や免除を受けた期間によって受け取る年金額は異なる。

●詳細は、以下の「日本年金機構」のホームページを確認してください。

<http://www.nenkin.go.jp/n/www/service/detail.jsp?id=3221>

② 遺族基礎年金

国民年金に加入中の人や国民年金の保険料を払い終わった60歳以上65歳未満の国内に住んでいる人が亡くなった場合に、18歳未満の子をもつ妻や、両親のいない18歳未満の子などに支給される。老齢基礎年金をすでに受給していた人や、受給資格の要件を満たす人が亡くなった場合にも支給される。ただし、死亡した人について保険料納付済期間（保険料免除期間を含む）が加入期間の3分の2以上あること。

●詳細は、以下の「日本年金機構」のホームページを確認してください。

<http://www.nenkin.go.jp/n/www/service/detail.jsp?id=3229>

◇ 国民年金の学生納付特例制度について

本学で学生納付特例の申請手続きができます。

学生納付特例とは、所得が少なく保険料を納めることが困難な20歳以上の学生の方が、将来、年金を受け取ることができなくなることや、不慮の事故等により障害が残ってしまった場合に、障害基礎年金が受け取ることができなくなること等を防止するため、本人の申請により保険料の納付が猶予される制度です。大学の申請手続き窓口は、学生課です。

●詳細は、以下の「日本年金機構」のホームページを確認してください。

<http://www.nenkin.go.jp/n/www/service/detail.jsp?id=3896>

5. 4 悪徳商法【こんな手口が君を狙っている】

(1) 訪問・通信販売等への注意

大きな社会問題となっている「悪徳商法」のほこ先が学生に向けられ、ここ数年、訪問販売・街頭アンケート・通信販売・インターネット通販などの悪徳商法に引っかかりトラブルに巻き込まれ苦勞している学生が後を絶ちません。これら悪徳商法について、代表的な事例を紹介します。安易な気持ちで契約を結ばないように、くれぐれも注意することが必要です。

(2) 悪徳商法の実例

① 資格取得商法

特定の民間団体が、さも所轄官庁の認可を受けたかのように装ったものや、大学が承認している資格と称して、通信教育などの手段で資格が得られることをうたい文句に、実態の不明確な講習会や国家試験として資格を売っているもの。

② キャッチ・セールス

街で通行人に「アンケートに協力してください」などと声を掛け、長時間執拗に説得されたのち、化粧品や健康食品、エステなど的高額なクレジット契約をさせるもの。

③ アポイント商法

突然、下宿・アパートや自宅に手紙や電話などで「○○○賞品が当選しました」などといって誘い出し、実益のない特典をたくみに説明し、パソコンやビデオなどを売りつけるもの。

- ④ マルチ（まがい）商法
ネズミ講と商品販売を組み合わせた方法で、次から次へと会員を増やしながら会員数（集金組織）を拡大していくことにより利益を上げるもの。
（例）自動車部品、化粧品、洗剤、教材の販売等
- ⑤ かたり商法
消防署、保健所などの公的機関から来たとかたり（思わせ）、消火器等の商品を売りつけるもの。
- ⑥ ネガティブ・オプション商法
注文していないのに勝手に商品を送りつけ、代金を請求してくる図々しい方法です。
代金を支払う義務も送り返す義務もありません。ただし、送られてきたものは14日間保管する必要があります。（業者に引き取り請求した場合は7日間）
その後の処分は自由です。自分が注文していないものは受け取りを拒否しましょう。
- ⑦ インターネット通販トラブル
最近非常に多くなっているのがこのトラブルです。インターネットで商品を注文して、料金を支払ったにも係わらず商品が届かない。ホームページ自体が削除されている等です。所在地や担当者名、電話番号等に不備があるショップとは取引をしないでください。

(3) クーリング・オフ (Cooling off)

“クーリング・オフ”とは、訪問販売や電話勧誘販売などの不意打ち的な販売で断り切れず契約したとき、一定の期間内であれば消費者が事業者との間で申込み又は締結した契約を無条件で撤回・解除することができる制度のことをいいます。

クーリング・オフの期間は、契約した日から8日以内、マルチ・現物まがい商法は14日以内です。この期間内に、書面で、「クーリング・オフ」を業者に通知しなければなりません。

その際は、電話でなく、必ず書面（出来れば「内容証明書郵便」が望ましい）にて対応してください。ハガキで出す場合はコピーを取って「簡易書留」で送付してください。

クレジット払いのときは、念のため業者と同様の書面をクレジット会社にも送付する必要があります。

なお、郵便・電話・FAXなどで申込み通信販売は、クーリング・オフの適用がありませんので注意してください。

(4) 困ったときの相談先は？

- ① トラブルに巻き込まれたら、直ちに学生課へ連絡〔TEL 048-585-6812〕してください。
- ② (財) 日本消費者協会消費者相談室 TEL 03 (5282) 5319
<http://www.jca-home.com/sodan/index.html>
- ③ 埼玉県消費生活支援センター熊谷 TEL 048 (524) 0999
<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0304/>
- ④ 最寄りの消費生活センター

(5) 悪徳商法から身を守る7ヶ条

- ① 勇気を持ってきっぱり断る。「いいです。」「結構です。」とあいまいな言葉は使わない。
- ② 「無料」「あなただけ」「絶対儲かる」などの誘いには要注意。
- ③ 知らない電話番号にかけない、メールに返信しない。怪しいサイトに入らない。
- ④ 商品の本質を見極める。本当に欲しいか自分に問い質す。
- ⑤ 契約書は、その場でしっかりと読む。契約は慎重に。
- ⑥ クレジット1回分の価格に惑わされない。甘い誘惑とやさしい言葉に気をつける。
- ⑦ 1人で悩まず家族や身近な友人等に早く相談する。

6. 厚生施設

6. 1 契約施設について

本学では、旅行会社と提携し、学生・教職員の健康増進と福利厚生を図っています。契約施設の利用を希望する学生は、学生課で申込みの手続きをしてください。

なお、契約施設に直接申し込んだ場合は、料金が異なる場合がありますので注意してください。詳細は、学生課に確認してください。

6. 2 温水プール施設「パティオ」について

深谷市の「アクアパラダイス・パティオ」は、年間を通じて利用することができる全天候型ウォーター・パークです。(住所：埼玉県深谷市榎合 763, TEL：048 - 574 - 5000)

本学の学生が「アクアパラダイス・パティオ」を利用する場合は、パティオの受付に学生証を提示し、利用料金 1,000 円の半額を支払い、受付台帳に学籍番号を記入してください。

●詳細は、以下の「アクアパラダイス・パティオ」のホームページを確認してください。

<http://www.patio.or.jp/index.php>

7. オフィス・アワーについて

本学では、修学に関するあらゆる相談や指導に対応するためにオフィス・アワーを設けています。相談日や時間はそれぞれの先生や学科により異なりますので、下記の時間を参考に積極的に活用してください。なお、事前に予約が必要な場合がありますので、注意してください。

相談の予約が必要な場合は、E-mail で連絡するか、各教員が所属する学科事務室に申し出てください。

<機械工学科>

| 教員名 | 期間 | 曜日 | 相談時間 | 室番 | 予約 | メールアドレス |
|-------|----|-------|---------------|------|-----|----------------------|
| 小林 晋 | 通年 | 木 | 9:10 ~ 10:10 | 623A | 不要 | kobayasi@sit.ac.jp |
| 小西 克享 | 通年 | 月 | 16:50 ~ 17:40 | 628B | 不要 | konishi@sit.ac.jp |
| 石原 敦 | 通年 | 月・水・金 | 17:00 以降 | 628A | 不要 | ishihara@sit.ac.jp |
| 長谷 亜蘭 | 通年 | 木 | 12:40 ~ 13:10 | 622B | 要予約 | alan_hase@sit.ac.jp |
| 趙 希禄 | 通年 | 月 | 17:30 ~ 18:30 | 625A | 要予約 | zhaoxilu@sit.ac.jp |
| 皆川 佳祐 | 通年 | 月 | 12:35 ~ 13:20 | 624B | 要予約 | mina@sit.ac.jp |
| 萩原 隆明 | 通年 | 月 | 16:50 ~ 17:50 | 625B | 不要 | t-hagiwara@sit.ac.jp |
| 安藤 大樹 | 通年 | 月 | 9:10 ~ 10:40 | 621A | 要予約 | ando@sit.ac.jp |
| 上月 陽一 | 通年 | 火 | 9:10 ~ 10:40 | 626B | 不要 | kohzuki@sit.ac.jp |
| 高坂 祐顕 | 通年 | 月 | 16:50 ~ 18:30 | 627A | 不要 | kosaka@sit.ac.jp |
| 小板 丈敏 | 前期 | 金 | 16:50 ~ 17:30 | 627B | 要予約 | koita@sit.ac.jp |
| | 後期 | 木 | 11:00 ~ 12:00 | | | |
| 福島 祥夫 | 通年 | 月 | 16:30 ~ 17:30 | 2756 | 不要 | fuku-shio@sit.ac.jp |
| 河田 直樹 | 通年 | 木 | 16:30 ~ 17:30 | 626A | 不要 | kawada@sit.ac.jp |

<生命環境化学科>

| 教員名 | 期間 | 曜日 | 相談時間 | 室番 | 予約 | メールアドレス |
|-------|----|-----|-------------|------|---------|-------------------|
| 岩崎 政和 | 前期 | 火・木 | 12:35~13:20 | 212B | 予約が望ましい | iwasaki@sit.ac.jp |
| | 後期 | 火・水 | | | | |

| | | | | | | |
|-------|----------|------------|--------------------------------|--|-------------------------------|-------------------------|
| 石川 正英 | 前期 後期 | 水・金 火・金 | 12:35～13:20 | 222C | なるべく 予約 | ishikawa@sit.ac.jp |
| 熊澤 隆 | 通年 | 金 | 12:35～13:20 16:50～18:30 | 222B | 要予約 | kumazawa@sit.ac.jp |
| 長谷部 靖 | 前期 後期 | 火・木 木・金 | 12:35～13:20 12:35～13:20 | 221B | 要予約 | hasebe@sit.ac.jp |
| 有谷 博文 | 通年 | 火～金 | 12:35～13:20 (および 講義等時間外は随時) | 134 | 不要 (事 前連絡希 望, メール 可) | aritani@sit.ac.jp |
| 浜名 浩 | 通年 | 月・火 | 12:35～13:20 | 145 (月曜は 16: :20 から学習 支援セク →) | できれば 要予約 | hamana@sit.ac.jp |
| 木下 基 | 通年 | 火 | 12:35～13:20 | 141 | 要予約 | mkinoshita@sit.ac.jp |
| 松浦 宏昭 | 通年 | 水 | 13:00～15:00 | 144 | 要予約 | matsuura@sit.ac.jp |
| 秋田 祐介 | 前期 後期 | 火 水 | 13:00～16:00 | 2731 | 要予約 | akita@sit.ac.jp |
| 秦田 勇二 | 前期 後期 | 金 木 | 13:00～16:00 13:00～16:00 | 2735 | 要予約 | hatada@sit.ac.jp |
| 本郷 照久 | 通年 | 水～金 | 12:35～13:20 | 212C | 要予約 | hongo@sit.ac.jp |
| 田中 睦生 | 通年 | 金 | 13:00～14:00 | 131 | 要予約 | mutsuo-tanaka@sit.ac.jp |

<情報システム学科> ※なるべくメールで予約して下さい

| 教員名 | 期間 | 曜日 | 相談時間 | 室番 | 予約 | メールアドレス |
|-------|----|------------|-------------|------|----|--------------------|
| 渡部 大志 | 通年 | 月 | 16:30～17:00 | 2243 | ※ | dw@sit.ac.jp |
| 曹 建庭 | 通年 | 火 | 12:30～13:10 | 1924 | ※ | cao@sit.ac.jp |
| 巨 東英 | 通年 | 金 | 12:30～13:10 | 2758 | ※ | dyju@sit.ac.jp |
| 吉澤 浩和 | 通年 | 金 | 11:40～13:10 | 1942 | ※ | yoshiz_h@sit.ac.jp |
| 松井 章典 | 通年 | 火, 木, 金 | 12:30～13:15 | 2759 | ※ | matsui@sit.ac.jp |

| | | | | | | |
|--------|----------|-----------|----------------------------|------------------|---|--------------------|
| 鯨井 政祐 | 通年 | 火 | 9:10～10:50 | 2242 | ※ | kujiapon@sit.ac.jp |
| 井上 聡 | 前期 後期 | 水木 火木金 | 12:20～13:10 | 2237 | ※ | inoue@sit.ac.jp |
| 橋本 智己 | 通年 | 月 | 12:15～13:00 | 2754 | ※ | tomomi@sit.ac.jp |
| 古谷 清蔵 | 通年 | 火 | 13:10～16:15 | 1933 | ※ | sfuruya@sit.ac.jp |
| 関口 久美子 | 前期 後期 | 火 火 | 16:50～17:50 12:35～13:20 | 学習支援センター 2227 | ※ | gucci@sit.ac.jp |
| 伊丹 史雄 | 通年 | 金 | 13:20～14:20 | 1934 | ※ | itami@sit.ac.jp |
| 前田 太陽 | 通年 | 金 | 16:50～18:30 | 2246 | ※ | maedat@sit.ac.jp |
| 青木 恭弘 | 通年 | 火～木 | 12:40～13:10 | 1941 | ※ | y-aoki@sit.ac.jp |
| 山崎 隆治 | 通年 | 金 | 14:30～15:30 | 2236 | ※ | yamazaki@sit.ac.jp |
| 石崎 博基 | 通年 | 水、金 | 15:30～17:00 | 1921A | ※ | ishizaki@sit.ac.jp |
| 佐藤 進 | 通年 | 月 | 12:15～13:15 | 1943 | ※ | ssato@sit.ac.jp |
| 服部 聖彦 | 通年 | 水 | 11:00～12:00 | 2248 | ※ | hattori@sit.ac.jp |

<基礎教育センター>

| 教員名 | 期間 | 曜日 | 相談時間 | 室番 | 予約 | メールアドレス |
|--------|----|----|-------------|--------------|-----|--------------------|
| 田中 正一 | 通年 | 火 | 13:20～14:10 | 2673 | 不要 | s.tanaka@sit.ac.jp |
| 斎藤 昭二 | 通年 | 月 | 12:40～13:20 | 学習支援 センター | 不要 | saito@sit.ac.jp |
| 山路 雅也 | 通年 | 火 | 12:35～12:55 | 2656 | 不要 | yamaji@sit.ac.jp |
| 松田 智裕 | 通年 | 水 | 15:05～16:00 | 2663 | 要予約 | matsuda@sit.ac.jp |
| 高橋 優 | 通年 | 月 | 13:20～14:10 | 2671 | 要予約 | masaru@sit.ac.jp |
| 坂梨 健史郎 | 通年 | 金 | 15:30～16:00 | 2657 | 不要 | sakanasi@sit.ac.jp |
| 高橋 俊典 | 通年 | 火 | 11:00～11:50 | 2667 | 不要 | ttoshi@sit.ac.jp |

8. 個別指導(個別面談と補習授業)について

工学部では、GPA (学修成果の指標となる全科目の成績平均値)を用いて、100点法 GPA60未滿、4点法 GPA1.0未滿相当の成績不振学生および留年生に対して個別指導を行います。該当学生には担当教員が各学期のガイダンス時に個別面談を行うとともに、必要に応じて補習授業の受講を指導します。補習授業の実施方法および内容は下記のとおりです。不明な点は各学科・基礎教育センターの教務委員に確認してください。

<機械工学科>

数学・物理・英語に関しては、基礎教育センターと調整の上、別途掲示するので26号館前学生掲示板および6号館機械工学科棟内掲示板を確認のこと。学習支援センターのセミナーを活用する場合があります。専門科目は機械工学科教員が下記の通り実施します。受講者は、各教員に必ず連絡し、指示に従うこと。

| 教員名 | 実施方法および内容 |
|-------|--|
| 小林 晋 | 前期月曜 10:55～12:35 『流体力学及び演習Ⅰ』あるいは『微分方程式』の講義内容に関して、補習授業を希望する学生に対して実施する。希望者は事前に予約を入れ、どの項目がわからないか明確にしておくこと。 後期月曜 9:10～10:50 『流体力学及び演習Ⅱ』の講義内容に関して、補習授業を希望する学生に対して実施する。希望者は事前に予約を入れ、どの項目がわからないか明確にしておくこと。 |
| 小西 克享 | 前期月曜 17:40～18:30 電子工作実習および工学実験Ⅰ(減圧沸騰実験)について不明な点を解説し、実習・実習の指導を行う。内燃機関について不明な点を解説し、問題演習の指導を行う。 後期月曜 17:40～18:30 機械設計法及び演習について演習問題の解き方を解説する。設計製図Ⅱについて設計計算の不明な点を解説し、作図作業の指導を行う。 |
| 石原 敦 | ロボット学概論:前期火曜4限、ただし、隔週。熱力学及び演習Ⅰ:前期火曜5限。 熱力学及び演習Ⅱ:後期火曜5限。 ロボット製作法および演習:後期火曜4限。 それまで行った授業内容に沿った面談質問形式で受講生の弱点を補強する。 |
| 長谷 亜蘭 | 前後期ともに木曜 16:50～18:30 に解説等の対応を行う。 |
| 趙 希祿 | 前期月曜 16:30～17:30 材料力学及び演習Ⅰについて不明な点を解説します。 後期月曜 16:30～17:30 材料力学及び演習Ⅱについて不明な点を解説します。 |
| 皆川 佳祐 | 前期月曜 17:40～18:30: 数値計算法について不明な点を解説し、演習を行う。 前期水曜 17:40～18:30: 機械力学及び演習Ⅰについて不明な点を解説し、演習を行う。 後期金曜 17:40～18:30: 機械力学及び演習Ⅱについて不明な点を解説し、演習を行う。 |
| 萩原 隆明 | 前期水曜 16:50～17:30 制御工学及び演習Ⅰ。後期火曜 16:50～17:30 制御工学及び演習Ⅱ。後期:コンピュータ・プログラミング(日時は受講生と調整)。 講義内容・課題について、不明な点を解説する。 |
| 安藤 大樹 | 前期月曜 17:40～18:30 Cプログラミング及び演習Ⅰ, メカトロニクスについて不明な点を解説する。 後期月曜 17:40～18:30 Cプログラミング及び演習Ⅱ, ロボット工学について不明な点を解説する。 |
| 上月 陽一 | 前後期ともに火曜日 16:50～17:50 に626(B)室で実施します。材料力学及び演習Ⅰ・塑性加工・機械材料・機構学について、授業で理解できなかった点や与えられた課題問題の解説を行います。 |

| | |
|-------|---|
| 高坂 祐顕 | 前期月曜 17:30～18:30 設計製図Ⅰについて設計計算の不明な点を解説し、作図作業の指導を行う。 後期月曜 17:30～18:30 伝熱工学について演習問題の解き方等の指導を行う。 |
| 小坂 丈敏 | 前期金曜 17:30～18:30 流体力学及び演習Ⅰについて不明点を解説し、演習問題の解法を指導する。 後期木曜 17:30～18:30 応用数値計算法、空気力学、流体機械について不明点を解説し、計算法、方程式の導出および演習問題の解法を指導する。 |
| 福島 祥夫 | 前期水曜 16:50～17:30 システム工学の内容について不明点等の指導を実施。 後期水曜 16:50～17:30 CAD 基礎製図について操作方法を指導。 |
| 河田 直樹 | 前期水曜 16:40～17:20 機械工作法、工業法規について不明点を解説する。 後期水曜 16:40～17:20 工業力学について不明点を解説し、演習問題の解法を指導する。 |

<生命環境化学科>

生命環境化学科では、専門科目の学修の前提となる基礎科目に関する学力の向上を目的として、学習支援センターで開講されている英語・化学・生物・数学等のセミナーを補習授業として活用します。これまでに十分習得できなかった基礎科目の習熟を目指すとともに、専門科目の理解ならびに大学の講義を学ぶ意欲をより高めるための手助けとして、学習支援センターの学習相談も積極的に活用して下さい。なお、詳細については、学習支援センターのホームページを確認して下さい。

・学習支援センターホームページ URL : <http://www.sit.ac.jp/lsc/index.html>

<情報システム学科>

期末試験の成績が著しくおもしろくない学生には、補習によりフォローアップの機会を設けます。掲示または連絡等により呼び出しを受けた場合、指示に従ってください。

<基礎教育センター>

学科の求めに応じて補習を実施する。なお、基礎教育センターで独自に補習を設定することがある。

| 教員名 | 期間 | 曜日 | 相談時間 | 室番 |
|--------|----|----|-------------|----------|
| 田中 正一 | 通年 | 火 | 14:10-15:00 | 2673 |
| 斎藤 昭二 | 通年 | 火 | 12:40-13:20 | 学習支援センター |
| 山路 雅也 | 通年 | 火 | 12:55-13:20 | 2656 |
| 松田 智裕 | 通年 | 水 | 16:00-16:30 | 2663 |
| 高橋 優 | 通年 | 月 | 14:10-15:00 | 2671 |
| 坂梨 健史郎 | 通年 | 金 | 16:00-16:30 | 2657 |
| 高橋 俊典 | 通年 | 火 | 11:50-12:40 | 2667 |